

こみゆにてい 見聞録

地域のいろいろな話題を紹介します。

蒼生学園地域交流会が開催

障がい者への理解と社会参加を図ることを目的に毎年恒例の蒼生学園地域交流会が10月28日(日)、長田小学校で開催されました。今年で18回目を迎えた地域交流会では、グラウンドゴルフ大会や、地域の老人会や子ども会のダンスの披露、さらに会場に設けられた各コーナーでのイベントなどを通して、蒼生学園の方と長田地域の皆さんが親睦を深め、笑顔いっぱいの交流会となりました。



秋空の下、笑顔で駆け抜けました!

10月28日(日)、子どもたちの体力向上と市民の健康増進に寄与することを目的とした第1回宜野湾ビーチサイド駅伝大会(主催:(社)SUNライズ)が市制施行50周年記念協賛事業として海浜公園多目的広場で開催されました。当日は148名の方が参加され、トロピカルビーチを眺めながら気持ちのいい汗を流しました。主催者の比嘉正樹さんは「スポーツを通して宜野湾市と県外の交流を図っていけるような大会にしたい」と今後の展開を語りました。



また、11月2日(金)には、同大会事務局が市役所を訪れ、「市の体育振興に役立ててください」と約3万円を寄付しました。

遊びながら世代交流

地域の高齢者の方からさまざまな遊びやスポーツなどを通し、世代間の交流を図ることを目的に市青年健全育成協議会(普天間朝光会長)主催による第33回世代交流会が11月3日(土)、市立体育館で開催されました。交流会では高齢者と子ども達による輪投げ大会が行われ、高齢者の方が子ども達に輪投げのコツを教える場面も見られました。



また、宜野湾警察署による安全教室も行われ、振込詐欺や、安全な道路の渡り方などのお話がありました。



字宜野湾郷友会が文化功労者に選ばれました

平成24年度沖縄県文化功労者文化財保護で受賞した字宜野湾郷友会(宮城政一会長)の皆さんが、11月21日(水)、市役所を訪れ、佐喜眞市長へ受賞報告を行いました。これは、伝統行事の保存継承・字史編纂や、戦前まで行われていた宜野湾区大綱引きの復活に努めたことが評価されたもので、宮城会長は「本当に嬉しい。この受賞も支えてくれた皆さんのおかげです」と話しました。11月25日(日)には宜野湾区公民館において受賞祝賀会も行われました。



7月29日に行われた宜野湾区大綱引き



赤十字奉仕団が寄付金贈呈

11月16日(金)、宜野湾市赤十字奉仕団の石川ヨシ子委員長らが市役所を訪れ、9月に行われた同奉仕団結成30周年記念資金造成チャリティーの収益の一部を、日本赤十字社沖縄県支部宜野湾市地区長(佐喜眞淳市長)へ寄付しました。この寄付金は赤十字社を通して各種災害救護、献血事業、医療等に役立てられます。